

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。

学校名	茨城大学大学院	個人・グループ名	滝本 穰治 松村 健	作品名	自作ホワイトボード
-----	---------	----------	---------------	-----	-----------



【製作動機】

今秋開催された全日本中学校技術・家庭科研究会主催の全国大会や、関東甲信越地区大会のリハーサル研究授業へ参加した際、広いスペースが確保できる体育館で授業が行われることもあった。それらの授業の中には、資料の提示に使用するホワイトボードが小さいことや、文字が見えないという問題が見られた。

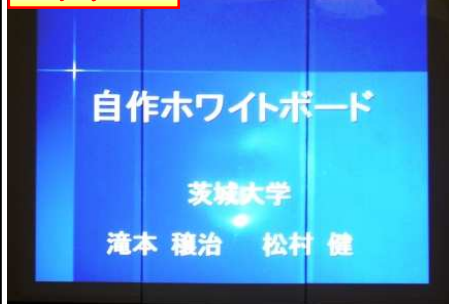
新しく大きなホワイトボードや太字のマーカーペンを購入すれば解決する問題ではあるが、市販のホワイトボードは①大きさに比例して値段が高い、②ボードの高さが一定である、③保管するためには場所を取る、ということに気が付いた。

そこで、安価でありながらホワイトボードとしての機能を持った実用性のある「自作ホワイトボード」を製作しようと考えた。

【利用方法】

1. ホワイトボード (書く機能)
マーカーで文字や図などをかくことができる。
2. ホワイトボード (貼る機能)
マグネットを用いて掲示物を貼ることができる。
3. スクリーン
コンピュータの画像をプロジェクタから投影できる。
4. ホワイトボード (高さ調節が可能)
場所や使用者によって高さを4段階に調節できる。

スクリーン



4段階の高さ調節機能付き



ボルト1本で高さ調節可能



【作品の工夫点】

- ・ホームセンターで市販されている塩ビシートを用いることで、誰でも手軽に入手できる。※参考資料を参照
- ・4段階の高さ調節機能により、生徒や教員によって適切な高さ（最高1800mm、最低1000mm）に設定可能。
- ・3枚のホワイトボードを折りたたみ式にすることで、省スペースを実現。
(開いたとき: 900×1300mm, 閉じたとき: 900×450mm)
- ・ステンレスシートを塩ビシートの内側にはさむことにより、資料などを磁石で貼ることができる。
- ・土台に自在キャスターを取り付けることで、既製品と同等の移動機能を持たせることができた。

自在キャスター4個付き



収納BOX

<参考資料>

	寸法 (mm)	価格
脚付き片面無地 (A社)	910×1210	25,700 円
脚付き片面無地 (B社)	900×1200	23,730 円
自作ホワイトボード*	900×1300	6,000 円+廃材

* 油性のホワイトボード用マーカーは消えにくく適しません。

